

大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」取組実施担当者

## 大学院教育改革支援プログラム リサーチ・アシスタント (RA) の募集について

このことについて、博士後期課程の学生をリサーチ・アシスタント (RA) として採用を希望する場合は、下記応募書類を、**12月12日(水) 17時まで**に、事務局 (人間文化研究科棟 5F 506 室) へ提出願います (持参)。

### 記

#### 応募書類

- 1、リサーチ・アシスタント採用計画調書 (指定様式)
- 2、リサーチ・アシスタント申請者履歴書 (指定様式)  
※以上は、当プログラムHP (<http://www.dc.ocha.ac.jp/dics-jacs/index.htm>) からダウンロードできます。
- 3、研究業績一覧 (著書、論文 (査読の有無を明記)、学会発表のリスト: 任意様式)
- 4、学生証の写し (A4 用紙に学生証の両面をコピーし、余白に、住所・連絡先・メールアドレスを記載のこと)

#### 注 記

##### 1) 経費の趣旨

大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」の推進に資する研究支援体制の充実・強化並びに若手研究者の養成・確保を促進するため、本プログラムに関連する研究プロジェクト等に、優秀な大学院博士後期課程在学者を研究補助者として参画させ、研究活動の効果的推進を図るとともに、研究補助業務を通じて若手研究者としての研究遂行能力の育成を図る。

※「研究プロジェクト等」とは、特定の研究課題やテーマに共同して取り組むため、一定期間編成される研究チームが行う課題性を持った研究活動を指す。

##### 2) 資格

将来、研究者となる意欲と優れた能力を有する、人間文化創成科学研究科および人間文化研究科の博士後期課程に在学中の学生とする。(よって休学中の学生には応募資格はない)

なお、特別研究員 (DC および PD) は原則として対象としない。

##### 3) 勤務時間

1 人あたり週 12 時間 (週 2 日) × 4 カ月 (2007 年 12 月～2008 年 3 月) とする。

なお、当該学生の研究指導、授業などに支障を生じさせないこと。

##### 4) 国費留学生

資格外活動となるため、採用することはできない。

##### 5) その他

ティーチング・アシスタント (TA)、アカデミック・アシスタント (AA)、教務補佐員、事務補佐員として採用されている者を推薦する場合は、勤務日が重ならないよう注意願います。

なお、採用決定後、履歴書・卒業証明書 (他大学卒業者のみ) 等を、12月19日(水) 17時までに、事務局へご提出願うこととなります。また任期終了時には成果報告を提出していただきます。

**【書類提出先・問い合わせ】** 大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」事務局 (JCS 推進室)

場所: 人間文化研究科棟 5F 506 室 E-mail: [gsgp-jcs@cc.ocha.ac.jp](mailto:gsgp-jcs@cc.ocha.ac.jp) 内線: 5504 開室時間: 平日 10:00-17:00